

Lecture 集団性とリーダー

1. 集団性

Work 3は集団性とリーダー性チェックです。Tは人に向かう動き、Aは人に反発する動き、Iは人から離れる動きです。gは好ましい対人関係、pは好ましくない対人関係です。それぞれ集計すると、あなたの集団性の傾向がわかります。

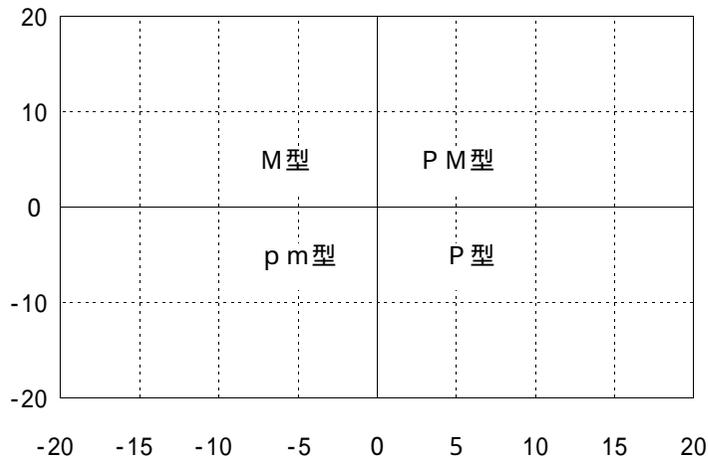
	T	A	I	
g	<p>【 】</p> <p>愛情が深く、人に対して優しく、物事をみんなの意見で決定し、幸福な人間関係と連帯感を大切にする。</p>	<p>【 】</p> <p>自分の意志で人生を切り開き、物事を企画し実行する指導力がある。</p>	<p>【 】</p> <p>物事に専念して着実に進める責任感や、独創性を持ちながらも、人には謙虚に接する。</p>	
	<p>コーディネーター ムード メーカー</p>	<p>ディレクター アイデア メーカー</p>	<p>チェッカー 協力者</p>	
p	<p>【 】</p> <p>他人がどう思うかが価値基準になり、できるだけ同調することで人との関係を維持する。自分に自信がない。</p>	<p>【 】</p> <p>他人はすべて競争相手であり、憎しみや嫉妬の対象である。えらそうで、攻撃的な態度をとる。</p>	<p>【 】</p> <p>人間関係がわずらわしく、関わりを避ける。優越感が強く、人を馬鹿にする。</p>	
	<p>同調者</p>	<p>ボス トラブル メーカー</p>	<p>傍観者 ぼんやり者</p>	
				合計

2. リーダー性

また、社会心理学者の三隅氏は、リーダーシップの機能を2つに分類しています。

「P」(performance) 目標達成機能	グループの目標を達成するために計画を立てたり、メンバーに指示や命令を与えることを重視する。
「M」(maintenance) 集団維持機能	メンバーの立場を理解し、グループ内に友好的な雰囲気をつくったり、集団の結束を維持することを重視する。

この2つの機能の有無の組み合わせ(大文字が「あり」、小文字が「なし」)によって、リーダーのタイプを4つに分類することができます。(Tg-Tp)を縦軸に(Ag-Ap)を横軸に座標をとります。



PM型	目標達成を目指しながら、集団の人間関係にも気を配り、いい雰囲気を作る。集団の生産性やメンバーの満足度が非常に高い。理想のリーダー。
P型	目標達成に重点を置き、人間関係には配慮しないので、雰囲気が悪くなったり敵を作りやすくなる。重要なプロジェクトを立ち上げる時や、深刻な問題に直面している時に力を発揮する。
M型	集団の人間関係に気を配りいい雰囲気を作るが、目標はあまり達成できません。活動が軌道に乗り順調に行き始めた時に力を発揮する。
pm型	目標達成にも、人間関係にも消極的で、指導者としては向いていません。